

授業科目(ナンバリング)	地域産業の魅力 (CA222)			担当教員	森尾 真之 (実務家教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本講座は、人口減少に伴い縮小する地域の課題についての理解を深め、産業の継承やまちづくりなどを通じた地域活性化に対する持続可能性についての視点を養う。また地域を豊かにするための持続可能な観光の在り方についてそのポイントを学ぶ。</p> <p>そのうえで大学のある長崎県の地域まちづくりについて、第一線で活躍する地域のキーパーソンからその取り組みやその活動の背景や考え方についての学びを通して、地域を見つめる自分なりのまなざしを持ち、自分の価値観を見つめ、地域社会に貢献できる自分らしい働き方とは何かを考える。講義の構成は、地域課題や観光・まちづくりに関する現役の実務家である外部講師と観光まちづくりや地域活性化の実務経験のある担当教員との協働による実践的な授業である。</p>							①②⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	一般的な地域課題（経済、生活、環境）について、その背景や課題相互の関連性について説明できる。また観光まちづくりについて、地域課題との関連から考えることができる。				課題レポート	20%	
情報収集、分析力	地域課題の具体的な事例などについて情報収集し、講義の内容をより深く理解することが出来る。また課題については、自分のテーマに関して、具体的な方向性を表現することができる。				課題レポート 課題ワーク	20% 30%	
コミュニケーション力	地域に関する具体的な事例について、その内容を自分なりに精査して、与えられた字数制限内での確に文書で表現することができる。				課題レポート	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	地域経済活動における様々な産業がどのように状況にあり、地域の魅力を向上させるためには、どのような組み合わせがどんな価値を創り出すのかを、これまでの事例から理解することができる。				課題レポート 授業の取り組み	10% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>(1) 課題レポート（計6回、配点合計 60%）では、自分が特に興味を持った地域課題について、自分自身の問題意識と考えられる方策についてレポートとして記述することを求める。Manabaでの質問については、ゲストスピーカーからの回答を講義中の紹介、またはポートフォリオから学生へのフィードバックとする。</p> <p>(2) 課題ワークについては、課題解決のための企画提案をベースにしたものとする。フィードバックについては、外部講師および担当教員から行う。（30%）</p> <p>(3) 授業への取り組みについては、出席及び講義ノートの提出を評価対象とする（10%）</p>							
授業の概要							
<p>地域課題や観光・まちづくりに関する現役の実務家である外部講師と地域活性化の実務経験のある担当教員との協働による実践的な授業である。講義の学びの主な到達点は、下記の4つである。</p> <p>(1) 地域課題を3つのテーマから考え、実際に目の前で起こっていることとつなげて考えることができる。</p> <p>(2) まちづくりに関わるとはどのようなことをするのかを具体的な事例とともに考える。</p> <p>(3) 地域課題と豊かな地域をかたちづくる要素としてどのようなことがあるのかをゲストスピーカーの講義から学ぶ。</p> <p>(4) 地域活性化に資する「観光まちづくり」とはいったいどのようなものなのか。誰がそれを担うのか。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：なし</p> <p>参考書：なし（※ただし講義中に講師から推薦される場合もある。）</p> <p>指定図書：飯田泰之著（2016）『地域再生の失敗学』（光文社新書）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>本講座のための外部講師を招聘しているが、多忙のなかで本学に来ていただく礼儀としても、時間厳守、真摯な受講態度を求める。また講義に当たっては、できるだけノートを取り、最終的な自分のキャリアに活かせる学びとして保存することを勧める。地域ならではの豊かな生き方、働き方の質の向上は、観光面でも大きな影響を及ぼすことから、講義内容は多岐にわたるが、地域におけるあらゆる課題についての見識や教養が必要であることを十分理解してほしい。今後の自身のキャリアや生き方を考える上で大切な気づきになるよう、積極的に参加してほしい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	
1	オリエンテーション	シラバスの説明、地域課題の背景やポイントを整理して考える。また、各予定外部講師の簡単な紹介やしかるべき対応態度などの注意点について説明。	予：シラバスを事前に読み込んでおく
2	地域の持続性とは	日本の地域において進行する社会課題、世代間の価値観の違いを通して、これからの若い世代が考えるべき地域の在り方について考える。またSDGsではどのように定義されているのかを整理する。	予：自分の生活環境について良い点と悪い点を書き出しておく
3	地域課題の整理①	地域課題における「経済」面について、SDGsワークを通してその背景について整理する。特に経済効率性が高められた一方で孤立や不安を抱え、社会の分断が加速していることについて考える。	復：多くの課題の関係性について、ワークシートで振り返る。
4	地域課題の整理②	地域課題における「生活」面について、SDGsワークを通してその背景について考える。特に「豊かさ」「幸せ」の意味を問い直し、経済的な充足だけでなく精神的な充足が求められることについて考える。	復：多くの課題の関係性について、ワークシートで振り返る。
5	地域課題の整理③	地域課題における「環境」面について、SDGsワークを通してその背景について考える。特に経済成長の側面が強調され、地域の自然環境や景観などの地域資源が壊されることがないようにするための観光の役割を考える。	復：多くの課題の関係性について、ワークシートで振り返る。
6	地域課題の解決に向けて①～縮小する地域と教育について (外部講師)	縮小する地方コミュニティの維持には都会との格差を解消しつつ地域への愛着を持たせる教育が不可欠であり、そのための「学び」と「体験」の重要性を理解する。	復：都会にあって地方にないものと認識されているものは何か。
7	地域課題の解決に向けて②～まちのこまりごとに、私たちができること (外部講師)	誰もがはたらく喜びを実感でき、主体性をもって暮らせる地域社会の居場所「まちのリビング」運営の実践、すべての人の楽しい暮らしのための地域のつながりの大切さについて学ぶ。	復：地域の豊かさとは何かを住民の目線から考える。
8	地域を元気にする観光まちづくり①～住む人が生活を楽しむ街へ。	地域主導で行われる活性化の取り組みには住民の参加が不可欠である。移住者の定住化のための「関係人口化」の取り組みや、国主導で行われている地域おこし協力隊やふるさと納税の現状を学ぶ。	復：活性化のための国の施策についての理解を深める。
9	地域を元気にする観光まちづくり②～斜面地における市街地活性化 (外部講師)	日本には多くの観光地として有名な斜面地が多いが、高齢者が住みにくくなり、街の営みやにぎわいが失われていく課題がある。コミュニティの関係性を維持し、持続可能なまちづくりに若者ができることは何かを考える。	復：自分の街の気に入った場所を人に勧めるにはどう説明するかを考える。
10	地域を元気にする観光まちづくり③～「観光のワイズユース」の視点	観光は地域の活性化にどのような貢献ができるのか。元からある地域の魅力を楽しむことで持続的な地域の暮らしと観光の両立のために必要な価値創造はどのように行われるべきなのか。空き家・空き店舗の再生、地域資源の保存や活用による中心市街地のにぎわい創出の取り組みを学ぶ。	復：オーバーツーリズムなど観光が地域に負荷をかける事例を考える。
11	地域を元気にする観光まちづくり④～「消費」的観光から持続的観光へ	「観光まちづくり」が目指すものは何か。マストツーリズムから脱却し、地域と訪問者に求められるレスポンシブルツーリズムの概念について学ぶ。また観光の担い手「DMO」について、国が進める仕組みづくりとその機能について学び、観光地マーケティングの基本について学ぶ。	復：ワークシートから自分の住む地域でできることを考えてみる。
12	長崎県の地域振興～地域をつなぎ、移住を呼び込むにぎわいづくり (外部講師)	長崎県の地域の可能性と若者ができることは何かを考える。コミュニティによる移住者への生活面やビジネスでの支援の実例を通じて、多様性を持つ地域の魅力について考える。	復：地域での新事業のアイデアを考えてみる。
13	地域と生きる①～「楽しさ」こそが地域の暮らしの魅力に (外部講師)	自分のありたい日常の先には地域の魅力が見えてくる。それぞれが自分の「押し」をシェアすることで、自らの個性を通して主体的に関わり、魅力ある地域のコミュニティがどのように立ち上がるのかを学ぶ。	復：自分の「押し」はどんなことに役に立つのかを考える。
14	地域で生きる②～自らのアイデアで誰かの居場所をつくる (外部講師)	社会的に弱い立場の人たちの人生の居場所をアイデアと行動力でサポートする。どんな人でも自分らしく幸せに生きることのできる街によって、私たちはどんな未来をつくっていくことができるか。	復：自分が提供できる価値は何かについて意見を交換する。
15	地域で生きる③～地域でのキャリアを考える (外部講師)	大学のある長崎県での地域とともに歩むキャリアを考える。	復：地域に関して学ぶことの大切さを整理する。